

黒埼南ふれあい協議会ニュース

第11号

ふれあいかわら版

南部地区公民館設計案（たたき台）を検討

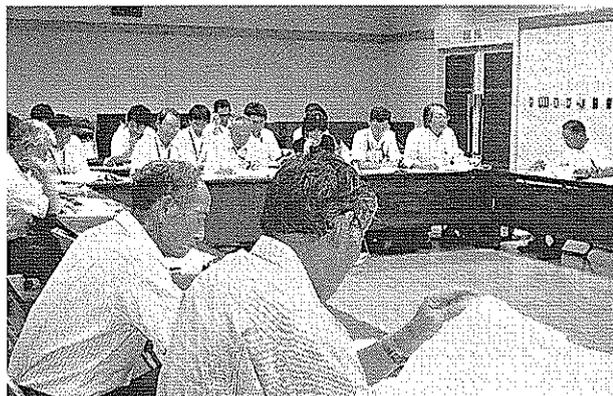
去る8月5日（水）午後7時から黒埼出張所講堂において、第3回南部地区公民館建設検討委員会を開き、設計案（たたき台）と今後の設計の進め方を協議しました。概要をお知らせいたします。

江端直樹南部地区公民館建設事業検討委員長の挨拶に続いて、設計者である（株）ノア設計事務所から設計案のたたき台が示されました。建設地は旧黒鳥小学校の水泳プールを解体した場所となります。

計画敷地面積1,726.98㎡、計画延床面積499.43㎡で、主要地方道新潟・燕線から農協倉庫脇のグラウンド内に新たに車路（6.0m）と構内通路（1.5m）を設ける案であります。

駐車場は、身障者用を含めて15台のスペースを確保し、駐輪場も整備するとあります。また、建築計画のコンセプトとして、天窓のついたギャラリー（ホール）のある公民館としております。

平面計画では、情報交換・作品展示・団樂のできる場でもあるギャラリーを中心にして、玄関・受付・事務室・多目的ホール1・多目的ホール2・収納・会議室1・会議室2・収



納・和室・洋室（研修室）・女子WC・男子WC・給湯の各室を囲む配置案です。

なお、建築的な特徴として、次の項目を掲げております。

- ① ギャラリーに吹き抜けの空間を設けて、広がりと開放感を与える。
- ② ギャラリーにトップライト（天窓）を設け、明るい雰囲気醸し出して和やかな気持ちを得られるようにする。
- ③ ギャラリーを建物の中心に位置させて、各室への出入りに必ず通る場として機能させる。

審議の時間は2時間30分にも及びました。審議の結果は、次のとおりです。

- ・玄関が最も風当たりの強い北側に位置しているため東側に変更した場合の複数の設計案を再検討する。
- ・建物の使い勝手を考えて女性委員6～7人を増員する。

今後のスケジュールは、検討委員会（増員の女性委員を含む）の審議内容を受けて、次のスケジュール内容で進むことになります。

- ＜基本設計＞ 9月～11月
- ＜実施設計＞ 12月～22年3月
- ＜施設建設＞ 22年4月～23年3月

新埋蔵文化財センター 建設工事始まる!!

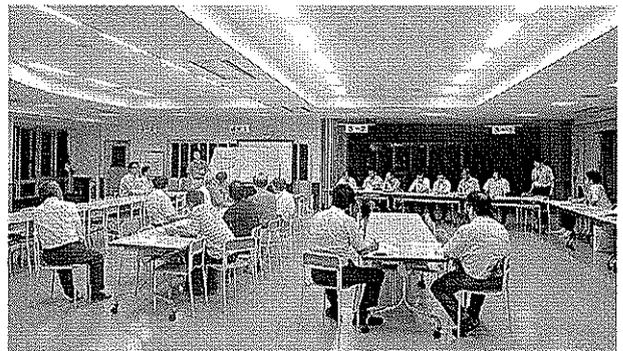
去る8月5日(木)、黒埼南小学校ランチルームにおいて、新埋蔵文化センター建設工事にかかる地元説明会で、プロジェクターおよび拡大図面を使って工事概要の説明がありました。

説明会は、工事施工業者が決定し着工することとなったとして、近隣関係者等を対象にして開催されました。設計監理は(株)山下設計、施工者は(株)小川組であります。

約半年間の仮設工事、杭地業工事、基礎・土間工事を経て来春には3階まで立ち上がり、外装、内装、外構の各工事を経て平成23年1月30日の竣工を目指します。

作業時間は午前8時から午後6時まで、日曜・祭日は原則休工となります。重機の搬出入時および車輛の出入り時には交通整理員等を配置し安全確保に努め、振動・騒音発生防止にも努めるとしております。

また、周辺整備工事は11月頃から来年3月までと、平成22年初秋から23年3月までの予定で実施されます。なお、工事現場にできるだけ近づかないようご協力を求めています。



むちゃをせず! まめな休憩を!

去る7月31日(金)午後4時から緒立地内の県道において、新潟西警察署の協力を得て新潟西交通安全協会が、ドライバーに対して地元特産の黒埼茶豆を配り、茶豆を引用しながら「む“ちゃ”をせず、“まめ”な休憩を」心がけてくださいと、安全運転と事故防止を呼び掛けました。

交通安全と事故防止の呼びかけは、新潟西警察署の協力の下に新潟西交通安全協会が主催するかたちで実施しました。

当日は黒埼南支部の役員である木場・板井・黒鳥・北場の連合自治会長、総代に各地区の自治会長らも参加し、西区役所黒埼出張所長ら職員を含めた総勢50人が活躍しました。

西警察署の警察官が、車を約10台単位に呼びかけの場所へ誘導し、車の停止とともに各自治会長らが一斉に、停止した車のドライバーに黒埼茶豆と交通安全のチラシを手渡し、安全運転を呼び掛けました。

なお、地元特産の黒埼茶豆は、昨年引き続き黒埼南支部のメンバーであるJA越後中央農協黒埼支店の手配によります。

次に、読者におかれましても、交通事故を防ぐためにも、常に、道路交通の場に潜む危険を予測し、その危険に的確に対応することが求められます。お互いに、油断のないよう目配りして、警戒心を高めながら運転したいものです。

